

**わがまちの
「ちょっといい話」**
NO. 24
「道徳のまち笠松」推進会議
(笠松町教育文化課)

○ **笠松駅前**

十一月十八日、朝八時、ブルーやライトブルーのジャンパーを着用した生徒達が岐阜工業高校の校門を出発。向かう先は、笠松駅。駅に着くと「MS（マ

ナーズ・スピリット）リーダーズ」の旗を掲げて駅前に立ち、乗降する一般の人々や登校途中の高校生に「おはようございます」と声をかけます。ほうきでポイ捨ての吸い殻やゴミを掃き集める姿も。八時二十分になると活動を終え、学校へ帰り授業に臨む。岐工生徒による笠松駅前でのあいさつ運動と地域清掃活動の一週間が始まりました。

○ **高校生のびのびプロジェクト**

ライトブルーのジャンパーの背には「みんなで開く未来への扉」、「高校生

**高校生のびのびプロジェクト
笠松駅東側も清掃**

のびのびプロジェクト」とあります。引率されている先生に伺うと、十一月は、内閣府の提唱する「全国青少年健全育成強調月間」で、**青少年が自ら判断し行動する活動を全国で展開**。岐阜県では、高校生が社会人として伸びて欲しい願いを込め、「**高校生のびのびプロジェクト**」と名付けて取り組んでいます。岐阜工業高校は、あいさつ運動と地域清掃に取り組みとのこと。この取り組みには、「他とのかかわりを大切にし、自らまちづくりに取り組み」など私たちの大切にしている“笠松人のこころ”が強く感じられるではありませんか。

○ **地域のたすけ**

ゴミ拾いは、駅前から東側の地下道へ、さらに駐輪場わきの線路沿いの土手へと広げられ、捨てられ

ていた空き缶・新聞紙・ペットボトルなどのポイ捨てゴミをフェンス越しに拾ってくれました。「きれいにしてくれて、ありがとう」と声をかけると「はい、どうも」と笑顔で応えてくれました。学校のある地域で生活する一人として、**地域に少しでも役に立ちたい**。そんな思いが強く感じられました。この高校生の活動は、人との出会いを大切に、駅前のきれいさを保つことにつながります。



駅周辺の清掃する岐阜工業高校の生徒